

もしも原子が見えたらなら

私の世界、原子の世界

花巻市立桜台小学校

四年

藤沼

凜央

「このブロック、やってみる？」小学三年生の時ブロック好きの私にお母さんが変わった形のブロックを買ってきてくれました。原子模型という名前のそのブロックはいろいろな色の球と棒だけでできていました。設計図のようなものを見ながら組み立てると、見たこともないような形になり嬉しくてそのまま

2

飾りました。これが原子と私の出会いでした。この本には世の中にあるいろいろな原子とその仕組みについてわかりやすく書かれています。原子はとても小さくて目には見えなそうです。例えば雲は、酸素原子と水素原子がくっついた「分子」という、小さな小さな霧つがたたくさん集まってできています。水の分子がいくつぐらい集まったら目に見えるようになるでしょうかという問いかけに、100くらいかな、もったかな？と想像

してみました。しかし実際は想像を越えるものでした。水の分子が一十億個集まってできた水のしずくがさらに一千個以上集まって、わっと目に見える霧つぶ一つになるのだそうです。私は宝くじのコマリシヤルくらいでしかこんな数字は見たことがありませんでした。か、それよりもっと大きな数なのです。たぬしに紙に書いてみたらマルだらけになってしまいました。霧つぶがこんなに気の遠くなる程の数の原子の集まりなら、私はどれだけ

多くの原子に囲まれて生きているのだろう、なんだか怖いなあ、と思いました。そして同時に、目に見えないものがたくさん集まって大きな力になるなんてすごいと思いました。また、世の中にはたくさん種類の原子があり、それらはほんの少し形が変わっただけで全く別の性質のものになることもわかりました。例えばメチルアルコールという毒性の強い分子に炭素原子一個と水素原子二個を加えただけでエチルアルコールというお酒の分

子に変わります。同じ原子でも何とく、つく
かで役に立つものにも害にもなるのです。

この本を読みながら私は、原子って人間み
たいななと思いました。一人一人個性があり
色々な役割を持っている。みんな協力してい
くことで一人ではできない大きな事もできる
ようになる。でも一人一人の悪い心が結びつ
いてしまうと悪い結果になってしまふことも
ある。そう考えたら、私の家族も友達も、学
校も、市や県や国も、みんな小さな原子と分

5

子の集まりのような気がしました。原子や分
子はもちろん、考えてくっついたり離れたり
しているわけではありません。でも私達人間
は自分達で考えたり、どうしたら良い結果が
出るのかを考えて行動し、失敗した時には、
やり直すこともできます。

6

世の中の原子の一つとして私もこれからで
きる事がたくさんある気がしてきました。今
の私にできる事は何かを考え、世の中を変え
ていく原子になりたいと思いました。